

# キューブ氷用かき氷機 取扱説明書



かき氷機レンタル専門店

上州物産 株式会社

〒379-2166

群馬県前橋市野中町369-2

TEL : 027-289-6080

FAX : 027-289-6166

緊急連絡先 : 080-5643-7181

# 目次

- 作動確認方法
- 安全上のご注意
- 各部のなまえとその働き
- 設置と運転前の確認
- ご使用方法
- かき氷の作り方
- プロテクターについて
- 刃物交換の仕方
- 2日以上ご使用する場合のお手入れ方法
- 故障の見分け方と処置方法
- 仕様
- 返却時の梱包手順

## ※ 注意 ※

果実・果汁・シロップ等を凍らせた氷は、  
絶対にご使用にならないでください。

弊社のかき氷機は氷（水を凍らせた氷）専用です。  
果実・果汁・シロップ等を凍らせた氷は絶対にご使用にならない  
でください。

掃除不可能な部分に果実・果汁・シロップ等のカスが入り込んで  
しまい、レンタル商品として取り扱えなくなってしまう  
発覚した際は、本体を実費にてお買い上げ頂きますのでご注意  
ください。

# 電動キューブ氷かき氷機

## 作動確認方法

1.



①取扱説明書

②バット・・・機械に設置してお届けします。

③ホース・・・本体トレーに取付けてください。

・ビニール袋の中身をご確認ください。

※材料・消耗品も一緒にご注文された場合、数量もご確認ください。

2.





電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを ON（入）にしてモーターがきちんと動くことをご確認下さい。

作動確認で異常が確認できた場合、  
レンタル日前日の 15 時 30 分までに弊社までご連絡ください。




# 安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

	<b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
	<b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

\*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。

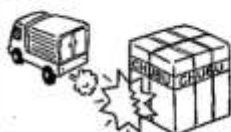
## 図記号の例

 感電注意	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 分解禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
 プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

## 警告

お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を（梱包箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガの原因となります。

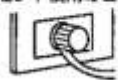


損傷確認

アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）

アース端子付コンセント使用のとき



アース線を確認につなぐ



アース工事

電源は専用コンセントを使用すること

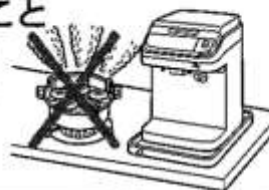
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因となります。



専用電源

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



熱器具禁止

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

感電、ケガの原因となります。



禁止

# 警告

## 製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。



水掛け禁止

## 電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

## 電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

## 濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



濡手禁止

## 運転中に投入口フタを開けたり、切削室の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。



禁止

## 漏電遮断器を使用している場合、OFF(切)に作動した時には、最寄りの販売会社へ連絡すること

無理にON(入)にすると、感電や火災の原因になります。



漏電連絡

## 異常時は、電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



プラグを抜く

## 切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。



素手禁止

## 修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと(刃物交換・お手入れ作業は除く)

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

## 改造は絶対におこなわないこと

改造工事をされると、感電、火災の原因になります。



改造禁止

## 屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されると、漏電・感電の原因になります。



屋外禁止

## 切削室内を掃除する時は、必ず刃物を切削室内面より下げ、拭く方向は必ず時計方向に拭くこと

ケガの原因になります。



刃物を下げる

# ⚠ 注意

## 丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平設置

## 切削室・氷出口は使用前に必ず掃除をすること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康傷害の原因になることがあります。



掃除

## 水滴が落ちててもよいところに据え付けること

結露の水の洩れ、かき氷の飛び散りなどで周囲の機器を濡らすことがあります。



設置場所

## 可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁止

## 直射日光の当たるところで使用しないこと

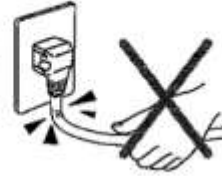
プラスチックが割れたりして危険です。



禁止

## 電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



禁止

## 切削室の中に氷以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）は入れないこと

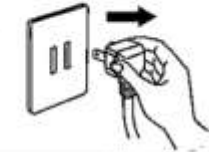
モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。



異物禁止

## 1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。



プラグを抜く

## 運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグを抜き、削った氷は捨て、氷以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）や刃物の破片が切削室の中にあることを確認すること

異物混入は傷害の原因になることがあります。



異物確認

## 廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物の廃棄は危険な物として処理してください。



専門業者

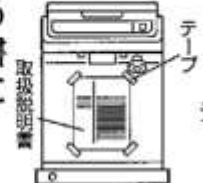
## 掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグも抜くこと

思わぬところに水が入って感電したり、製品が動き出してケガの原因になります。



プラグを抜く

## このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること



テープ止め

# 各部のなまえとその働き

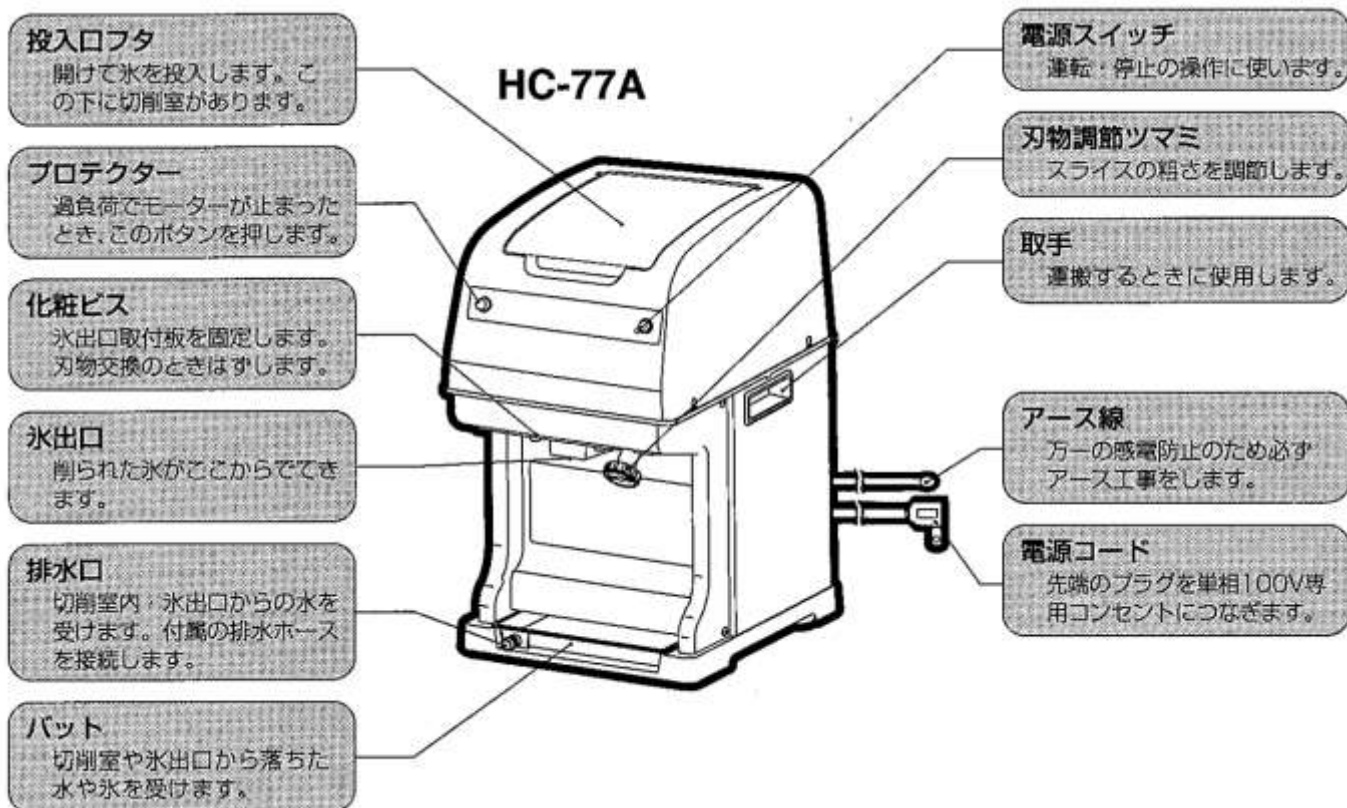
## ■使用目的

●本製品はキューブアイスからスライス氷（かき氷）を作るための製品です。

※キューブアイス…製氷機で作る約3cm角の氷です。

- ・ロックアイス（不定形の氷）の場合は約3cm角以下にしてご使用ください。
- ・氷以外のものには使わないでください。

## ■本体



# 設置と運転前の確認

## ■設置

### ⚠ 警告

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

感電、ケガの原因になります。



禁止

### アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事業者によるD種接地工事が必要です。)



アース工事

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

### 電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

熱器具(ガスコンロ等)を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



熱器具禁止

### ⚠ 注意

水滴が落ちてもしよいところに据え付けること

結露の水の洩れ、かき氷の飛び散りなどで周囲の機器を濡らすことがあります。



設置場所

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平設置

直射日光の当たるところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。



禁止

## ■運転前の確認

### ●電源は交流100Vに接続してください。

使用電源電圧は90V~110Vでお使いください。但し発電機は使用しないでください。発電機使用時の故障は保証いたしません。

### ●排水ホースの接続

バットの排水口に付属の排水ホースをつないでください。その先に排水を受けるバケツ等の容器を置いてください。

### ●初めてお使いになる時は、保管時にホコリ・ゴミなどが切削室内・氷出口に入っている恐れがありますので、切削室内の掃除をしてください。



# ご使用方法

## 警告

運転中に投入口フタを開けたり、切削室の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。



禁止

異常時は、電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること



プラグを抜く

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



濡手禁止

## 注意

切削室の中に氷以外の異物(スプーン・つま楊枝・ボタンなど)は入れないこと

モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。



異物禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



禁止

運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグを抜き、削った氷は捨て、氷以外の異物(スプーン・つま楊枝・ボタンなど)や刃物の破片が切削室の中に入らないことを確認すること  
異物混入は傷害の原因になることがあります。



異物確認

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。



プラグを抜く

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

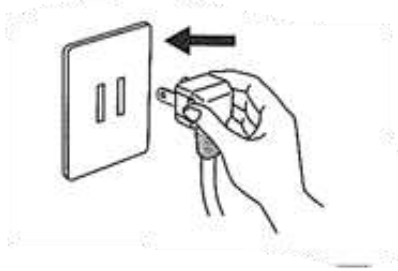
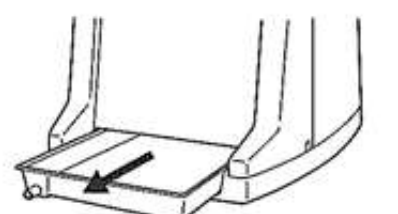









禁止

## お願い

- (1) 霜がつくほど冷えた氷は硬すぎて切削には不適當です。透明になるまで待つて使用してください。硬すぎる氷を使用して削られた氷は、粉のような「かき氷」になり、綿のような本来の「かき氷」にはなりません。また、刃物の刃先が損傷したりして、削れなくなることもありますので、必ず透明になるまで「ゆるめ」からお使いください。
- (2) 切削室に残ったキューブアイスは取り出せません。
- (3) 製品の上に物を載せないでください。

# かき氷の作り方

①		<p>電源プラグを差し込む。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 電源スイッチが OFF (切) になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。</li></ul>
②		<ul style="list-style-type: none"><li>• バットを手前に引き出してください。(約11cm)抵抗のある位置まで引き出してください。</li></ul>
③		<p>キューブ氷を入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 製品が止まっていることを確認し、投入口フタを開けてください。</li><li>• 必要量のキューブ氷を入れてください。</li><li>• 投入量は投入口から1cm下がったところまで均一に入れてください。かたよりは振動の原因になります。</li></ul> <p>投入量のめやす…約70～77個投入可能(1杯200gでキューブ氷8～9個の場合) ※投入したキューブ氷は取り出せませんので、必要量を投入してください。</p>
④		<p>投入口フタを確実に閉める。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 確実にフタが閉まっていないと、安全スイッチが働き電源スイッチを ON(入)にしても製品が動きません。</li></ul>

⑤		<p>カップなどでかき氷を受ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 氷出口の下にカップなどの容器を受けてください。</li> </ul>
⑥		<p>電源スイッチを入れる。(運転開始)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電源スイッチ(POWER)をON(入)にしてください。</li> </ul>
⑦		<p>氷削粗さを調節する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 刃物調節つまみをまわして、好みの粗さに調節してください。標準粗さ約 1mm。(切削室内面から刃先までの高さ)</li> <li>• 右へまわすと粗くなり、左へまわすと細くなります。</li> <li>• 刃物調節つまみ 1 回転で約 1mm 動きます。(回転可能範囲 2~3 回転)</li> </ul>
⑧		<p>途中、氷を追加する場合は、必ず電源を切ってから氷を追加してください。</p> <p>氷削運転中に投入口ふたを開けると、危険防止のため、安全スイッチが働き製品が停止します。</p> <p><b>！！注意！！安全スイッチを電源スイッチの代わりに使うことは絶対にしないでください。故障の原因になります。</b></p>
⑨		<p>電源スイッチを切り、プラグを抜く。(運転停止)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電源スイッチをOFF(切)にしてください。</li> <li>• 電源プラグを抜いて下さい。</li> </ul>

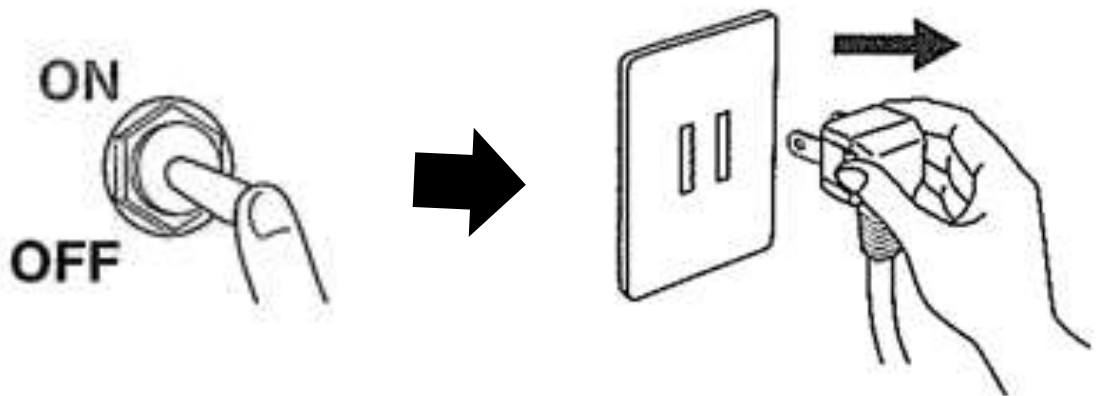
# プロテクターについて

1.



- モーターに負担がかかり過ぎると自動的に製品を止める装置です。
- この機種のプロテクターは電源スイッチ付近に取りつけてあります。
- 作動したときは、以下の処置をお願いします。

2.



- 電源スイッチをOFF（切）にし、コンセントからプラグを抜いてください。
- 氷以外の異物が切削室に入って、プロテクターが作動した場合は、氷削刃を取り外してから取り出してください。
- 氷削刃に破損があった場合は交換してください。（別紙参照）

3.



• プロテクターの赤いボタンを押し、コンセントにプラグを差し込み、電源をいれてください。

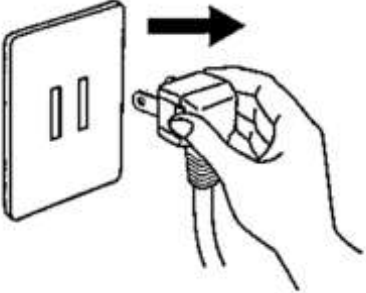
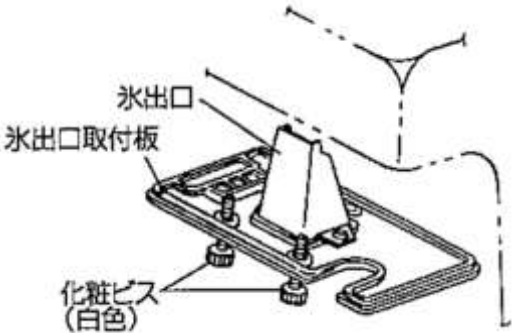
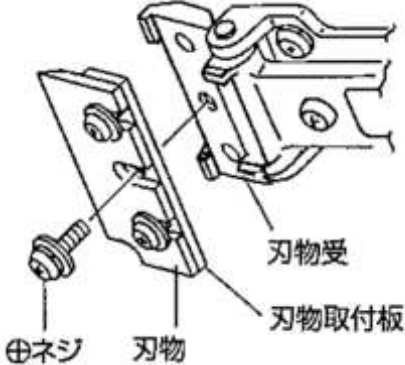
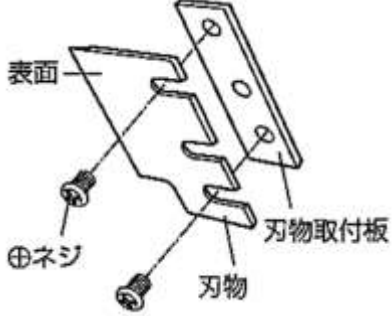
※プロテクターがたびたび作動する場合は、弊社まで1度ご連絡ください。

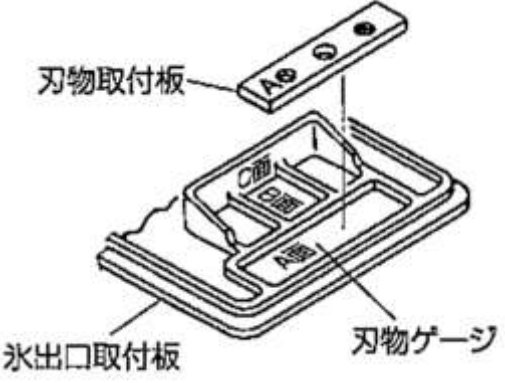
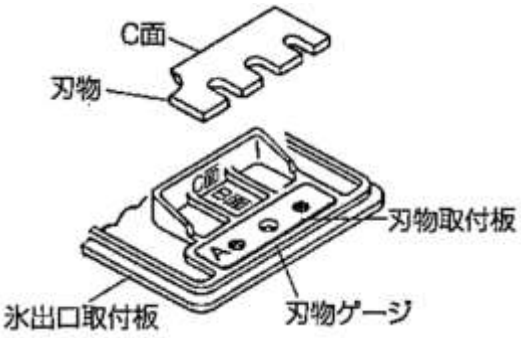

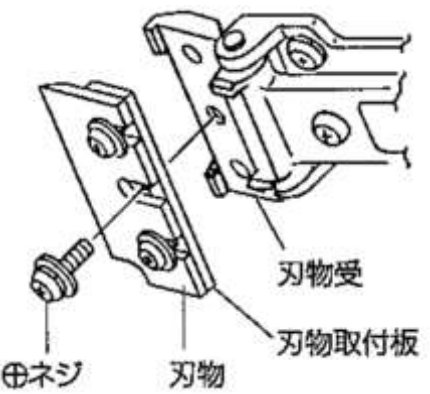
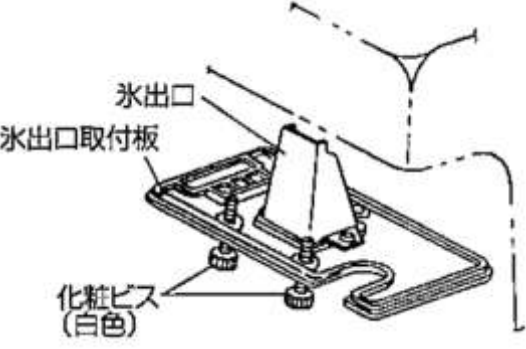
# 氷削刃の交換の仕方

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと。

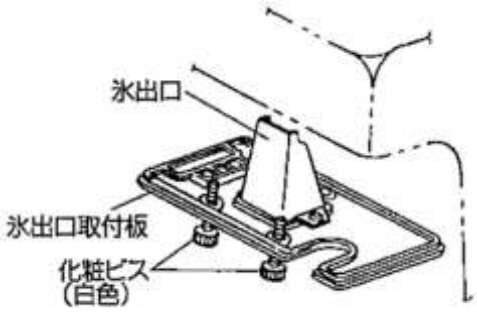

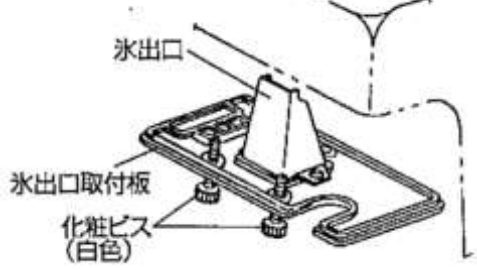
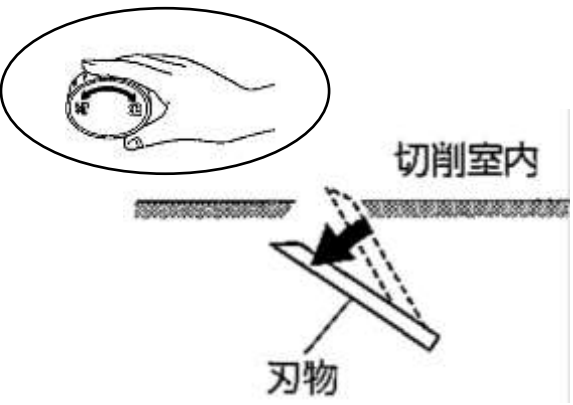
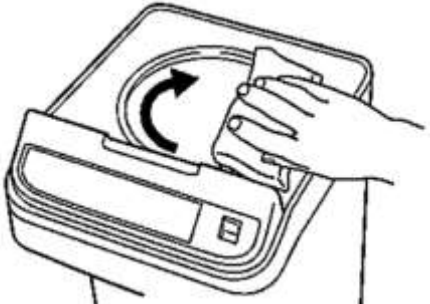
ケガの原因になります。

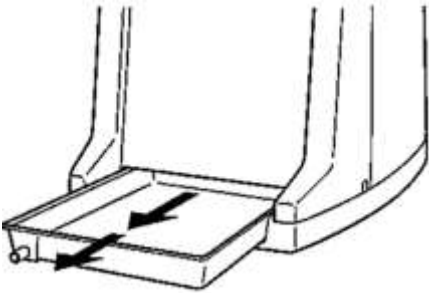

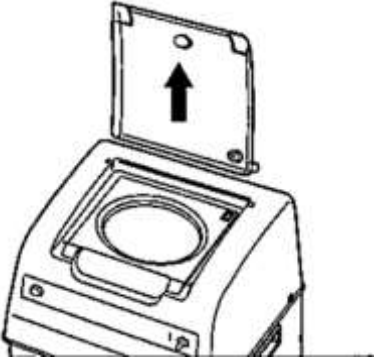

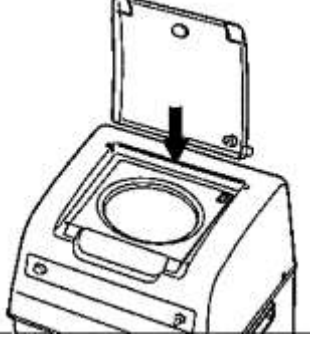


①		電源スイッチをOFF(切)にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
②		氷出口の周囲にある2本の白い化粧ビスをゆるめ、氷出口取付板を外してください。  (化粧ビスは氷取付板から外れません)
③		刃物受と刃物を取りつけている3本のネジのうち中央のネジをプラスドライバーで取り外し、刃物・刃物取付板を取り外してください。
④		刃物と刃物取付板を取り付けている2本のネジをプラスドライバーで外し、刃物を取り外してください。

⑤	 <p>刃物取付板</p> <p>氷出口取付板</p> <p>刃物ゲージ</p>	<p>氷出口取付板の裏側にある刃物ゲージの A 面に、刃物取付板を刻印 A が上になるように、はめ込んでください。</p>
⑥	 <p>C面</p> <p>刃物</p> <p>刃物取付板</p> <p>氷出口取付板</p> <p>刃物ゲージ</p>	<p>刃物取付板と刃物ゲージ B 面に新しい刃物をのせてください。</p>
⑦	 <p>ネジ</p> <p>C面</p> <p>刃物</p> <p>氷出口取付板</p> <p>刃物ゲージ</p>	<p>刃物ゲージ C 面に刃先を確実に押し付けて、2本のプラスネジで締め付けてください。</p>
⑧	 <p>ネジ</p> <p>刃物受</p> <p>刃物取付板</p> <p>刃物</p>	<p>組み立てた刃物を刃物受にはめ込み、中央の取付穴にプラスネジを入れ締め付けてください。</p>
⑨	 <p>氷出口</p> <p>氷出口取付板</p> <p>化粧ビス (白色)</p>	<p>氷出口取付板を本体に 2 本の化粧ビスで取り付けてください。</p>

## 2 日以上ご使用する場合のお手入れ方法

<p>①</p>	<p>●氷出口・氷出口取付板</p> 	<p>氷出口の周囲にある 2 本の白い化粧ビスをゆるめ、氷出口取付板を取り外してください。 （化粧ビスは氷出口取付板から外れません。）</p>
<p>②</p>		<p>ぬるま湯を含ませた布巾でよく拭いてください。氷出口内面はキズが付かないようにスポンジ等、やわらかいものをご使用ください。</p> <p>キズがつくと氷が詰まることがあります。</p>
<p>③</p>		<p>氷出口取付板を 2 本の白い化粧ビスで取り付けてください。</p>
<p>④</p>	<p>●切削室</p> 	<p>刃物調節つまみを左にいっぱいまわして、刃物を切削室内面より下げてください。</p>
<p>⑤</p>		<p>柔らかい布にぬるま湯を含ませて時計方向に拭いてください。</p>

⑥	<p>●バット</p> 	<p>抵抗があるまで手前に引き、少し強く引くと外れます。</p>
⑦		<p>ぬるま湯を含ませた布巾でよく拭いたあと、乾いた布巾でよく拭いてください。</p>
⑧	<p>●投入口フタ</p> 	<p>投入口フタは頭カバーに対して垂直に立てて上へ持ち上げると外れます。 (ほかの角度では外れません)</p>
⑨		<p>ぬるま湯を含ませた布巾でよく拭いたあと、乾いた布巾でよく拭き取ってください。</p>
⑩		<p>お手入れ後は頭カバーに差し込んでください。</p>



# 故障の見分け方と処置方法

## 警告

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと  
(刃物交換・お手入れ作業は除く)

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

### お願い

●故障かな?と思ったら、次のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄りの当社各営業所へご連絡ください。販売会社へ連絡するときは、型式・製造番号・据付年月日と故障状況をお知らせください。

現象	お調べいただきたいところ	処置方法
製品が動かない	●電源プラグが抜け落ちていませんか?	●コンセントに差し込んでください。
	●投入口フタが開いていませんか?	●確実に閉めてください。
	●プロテクターが作動していませんか?	●プロテクターの項参照。(P.11)
製品は動くが氷が削れない	●刃先が十分出ていますか?	●刃物を出してください。
	●刃物が切れなくなっていますか?	●刃物を交換してください。

## 仕様

品名	アイススライサー			
	HC-15A	HC-77A	HC-27	HC-80
型式	HC-15A	HC-77A	HC-27	HC-80
電源	単相100V 50/60Hz			
定格消費電力	150/180W	250/250W	250/250W	250/250W
定格時間	連続			
氷取容能力 (キューブアイス3cm角)	約16個	約70~77個	約60個	約80個
質量(重量)	13kg	16.2kg	20kg	22kg
外形寸法(幅×奥行×高さmm)	295×420×375	290×360×499	330×429×488	293×427×501
氷削能力(標準相さ)(kg/min)	1.2/1.4	2.5/3.0	2.5/3.0	1.5/1.8

# かき氷機【キューブ氷タイプ】

## 返却時の梱包手順

①		<ul style="list-style-type: none"><li>• 氷削室の氷を空にして、本体とバットとホースの水分を拭き取ってください。</li></ul>
②		<ul style="list-style-type: none"><li>• 水分を拭き取ったらバットをセットしてください。</li></ul>
③		<ul style="list-style-type: none"><li>• コードを持ちながら前面と後面の向きを間違わないように注意して箱に入れてください。</li><li>• この時、コードが下敷きにならないように注意してください。</li></ul>
④		<ul style="list-style-type: none"><li>• ホースを到着時に入っていたビニール袋に戻して、機械前面の隙間に入れてください。</li></ul> 

⑤		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 両脇の隙間に小さい方のエアークッションを、写真のように隙間にに入れてください。</li> </ul>
⑥		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 大きい方のエアークッションを上に被せてください。</li> </ul>
⑦		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 取扱説明書を載せてください。</li> </ul>
⑧		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 箱のふたを閉じてください。</li> </ul>
<p>▼返却用の伝票を指定の位置に貼り付けてください。 返却用伝票は弊社にてご用意させていただきます。 梱包の箱に貼り付けてあります。</p> <div data-bbox="220 1749 911 1912" style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>お届け時の伝票の下にある赤い伝票が返却用の伝票です。</p> </div> 		